

マイナンバー総点検の想定スケジュール

5月	マイナンバーを巡るトラブルが表面化
6月	岸田首相がマイナンバー総点検を指示
7月中	適切な方法で個人情報にマイナンバーを登録していたかどうか調査
8月上旬	調査結果を中間報告として公表
11月ごろ?	29項目の個人情報にマイナンバーが正確に登録されているかどうかの総点検完了

マイナ点検完了11月か

河野氏言及 混乱長期化の様相

河野太郎デジタル相は6日、全国知事会長の平井伸治鳥取県知事と会談し、今年秋としていたマイナンバー総点検の完了時期が11月ごろになる可能性を伝えた。知事会側は9月末ごろを想定していたが「例えば11月とかに遅らせる」とは十分ある」と述べた。5月以降、さまざまに表面化した混乱は長期化の様相を呈してきた。自治体にとっては時間的猶予が増え、事務負担の緩和につながる。

知事会は支援要望

平井氏が会談後、記者団に明らかにした。マイナンバーが正確に登録されているかどうか点検する対象は、税金や医療など29項目

の個人情報に及ぶ。河野氏は「弾力的に考えてもいいのではないか。秋といつのは9月末に限った話ではない」と述べ、項目によって

は、自治体などによる点検の差が11月ごろになってややむを得ないとの認識を示した。点検を巡っては、自治体から膨大な事務作業を強いられるとの懸念が広がっている。河野氏は「不要な点

検までする必要はない。現実的に即した点検方法が考えられるのではないかと説明。自治体など現場の実態を考慮し、作業の効率化を図る考えを示した。

平井氏は会談で、作業手順などの説明が不十分として「国はもっと地方とコミュニケーションを取ってほしい」と注文した。また、点検が必要となる人件費などへの財政支援や、具体的な作業スケジュールの早期提示を求める知事会の要望書を提出した。

マイナンバー総点検は、岸田文雄首相が6月の記者会見で「秋までをめどに行う」と表明した。29項目の個人情報(point検)するのは自治体や健康保険組合など約3600機関。現在はマイナンバーの登録方法などを調査しており、8月上旬に中間報告として結果を公表する。